

## 盛岡・釜石発

## ラグビーW杯まで1年

ラグビーワールドカップ日本大会の開催まであと1年となりました。2試合が行われる釜石でも期待は高まっていて、市民は「多くの方々が来て盛り上がりしてほしい」「お陰様でここまで立ち直りましたというのを見せたいと思う」と話していました。10月6日、7日には釜石で開催1年前の記念イベントが開かれます。(9/20 ニュースエコー)



## 大槌発

## 南極から生中継で授業



大槌町と南極、およそ1万4000キロを結んでの授業が大槌町立大槌学園で行われました。大槌の海と南極がつながっていることを実感してほしいと国立極地

研究所が開きました。授業では、南極観測隊の隊員が衛星回線を使って生中継で南極の様子を説明し、子どもたちは自分たちの住む地球の大きさを改めて感じたようでした。(9/21 ニュースエコー)

## 大槌発

## 8年ぶりの“曳き船”

大槌まつりの呼び物、「曳き船」が震災後初めて行われました。曳き船は大漁と漁業の安全を願う祭りですが、震災で船や漁港施設に大きな被害が出たため



中断していました。8年ぶりの曳き船には12隻の漁船が参加し、神輿や郷土芸能団体を乗せて大槌湾を周りました。岸壁には大勢の見物客が訪れ勇壮な浜の祭りの復活を喜んでいました。(9/22 ニュース)

## 宮古発

## 秋満喫！浜焼きフェスタ



サンマなど旬の味を楽しめる「浜焼きフェスタ」が宮古で開かれました。宮古さんま祭りから名前を変えて今年2年目の催しで、サンマやホタテ、マツタケなど新鮮な海の幸、山の幸が販売されました。サンマのつかみ取りでは、一度に14匹ものサンマをつかむ男性もいて会場をわかせていました。(9/23 ニュース)

## 陸前高田発

## 津波伝承館の愛称決まる

来年9月までに陸前高田市に整備される予定の東日本大震災津波伝承館の愛称が「いわてT S U N A M I (つなみ) メモリアル」に決まりました。



県内外893件の応募から、県立高田高校1年の菅野由夏さんの作品が選ばれました。選定理由について県は、「震災津波を忘れず後世に伝承する施設の性格を簡潔に表している」としています。(9/25 ニュース)

## 大船渡発

## さんりく元気ラジオ！

(ワイドステーション内 隔週水曜日放送)

大船渡のFMねまらいんの伊藤こずえさんが、美味しいサンマの炭火焼きの方法を紹介してくれました。ポイントは、形が崩れないようなるべく触らずに待つこと。市の『さんま焼き師』の認定試験で学んだことだそうです。これからはイベントなどでサンマを焼く人たちの焼き方にも注目してみてもいかがでしょうか。(9/27)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122